衆議院議長　横路孝弘殿

民主党、自由民主党、公明党３党は、密室談合で合意した「一体改革」関連法修正案及び「社会保障制度改革推進法案」など新法を国会提出し、まともな審議もせず衆議院での早期採決・通過を強行しようとしている。これは、３党談合の国会押し付けそのものである。新法にいたっては、国会会期末にいきなり提出し、十分な検討や審議の余地もないままに採決に付そうというものである。こうしたやり方は、国会の役割を否定する前代未聞の暴挙といわねばならない。

我々６党は、さる１４日に会談をもち、３党の密室談合に反対、談合の押し付け、国会審議の形骸化は断じて許されないことなどを確認し、同日、民主・自民・公明の各党にその旨を強く申し入れた。しかし今、これが無視されようとしている。我々はこれを黙過することはできない。

衆議院議長におかれては、国会の自殺行為ともいうべき事態を招来させないため、「社会保障と税の一体改革」関連諸法案をめぐる国会運営にあたって、国会審議の形骸化は許されないとの立場で対応されますよう強く要請する。

我々６党は、会期末を迎えた現時点で、今回の消費税増税法案については廃案にすべきであるとの立場である。

２０１２年6月２０日

みんなの党幹事長　江田憲司

日本共産党書記局長　市田忠義

社会民主党幹事長　重野安正

新党きづな幹事長　渡辺浩一郎

新党大地・真民主幹事長　松木のんこう

新党日本代表　田中康夫

44